

【公表】 事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所 運動療育センターキーツ・ビート		
○保護者評価実施期間	令和 8 年 2 月 2 日 ～ 令和 8 年 2 月 15 日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 28	(回答者数)	17
○従業者評価実施期間	令和 8 年 2 月 2 日 ～ 令和 8 年 2 月 14 日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8 年 3 月 5 日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種なスタッフの配置	保育士、理学療法士、公認心理師、児童指導員、と異なる資格を持ったスタッフでチームを構成している。 定期的にミーティングを行い利用者の情報や支援方針を共有している。	定期的な外部研修や合同研修を実施し、スタッフの強みを伸ばしていく。
2	一斉運動による運動プログラム実施	様々な学年の子ども達が一斉に運動をしている為、発達段階や運動課題に合わせたプログラムを構成している。ルール理解や利用者同士のコミュニケーションを通じて社会性を伸ばしていけるように工夫している。	活動メニューに飽きないよう、種類や難易度を調整していく必要がある。定期的にミーティングや活動のシミュレーションを行っていく。
3			

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点	事業所として考えている課題の要因等
1	地域交流の機会が少ない	事業所内でのイベント・行事参加に留まっている為、地域の方との交流はできていない。	近隣の施設イベントへの参加も検討する。 普段より支援時間に余裕がある場合には保護者了承のもとでの参加を検討していく。
2	保護者同士の交流機会が少ない	保護者を対象とした勉強会や保護者同士の情報交換の場を企画、検討していく。	保護者のニーズに合わせた交流の機会を企画する。同じ悩みや困りごとを話せる場や解決への糸口を共有する場を提供する。
3			